



*WriteCD-RW!*TM *Version 3.0*

Microsoft WindowsTM 用
ドラッグ・アンド・ドロップユーティリティ
「Mt. Rainier」対応



*Windows® 98/98 SE、Windows® Millennium、
Windows NT® 4.0 および Windows® 2000
バージョン用*

ユーザーズガイド

Copyright© 2001-2002 Software Architects, Inc.(SAI) and its licensors.
All rights reserved. Software Architects, Inc. のロゴ及びWriteCD-RW!は
Software Architects, Inc. の商標です。その他の製品、ブランド名はそれぞれの所有
者の商標または登録商標です。

WriteCD-RW!™ユーザーズガイド

SOFTWARE ARCHITECTS, INC. (SAI)
19102 NORTH CREEK PARKWAY, SUITE 101
BOTHELL, WASHINGTON 98011-8005
USA
PHONE: +1(425) 487-0122
FAX: +1(425) 487-0467

Email: support@softarch.com
Web site: http://www.softarch.com/

日本国内販売代理店
株式会社アクト・ツー

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-1-14 鈴木ビル3F
電話: (03)3328-8431
FAX: (03)3328-8454

メールサポート: http:// www.act2.co.jp/support
Web サイト: http://www.act2.co.jp/

ACTV3.0WCDRWJ121501

目次

イントロダクション	4
本マニュアルで使用されている記載規則	5
動作環境	6
インストール	7
WriteCD-RW!の使用方法	10
ディスクの「ディアイシング」(フォーマッティング)	13
トラブルシューティング	14
FAQ	14
問題例とその解決法	15
用語解説	18

WriteCD-RW!™

バージョン 3.0

「Mt. Rainier」規格CD-RWドライブを含むCD-RWドライブ用
ドラッグ・アンド・ドロップ・ユーティリティ

Windows® 98/98 SE、Windows® Millennium、
Windows NT® 4.0 および Windows® 2000 対応

イントロダクション

WriteCD-RW!™ は、CD-RWドライブをより効率のよい外部記憶領域としてWindowsシステム環境下でお使いいただくためのCD-RWドライブ用ドラッグ・アンド・ドロップ・ファイル・ユーティリティです。WriteCD-RW!は、「Mt. Rainier」新規格に対応したCD-RWドライブのみならず、従来のCD-RWドライブでもご使用いただけます。Mt. Rainier規格に準拠したCD-RWドライブは、より高い信頼性を提供し、バックグラウンド処理にてフォーマットを行うよう設計されているので非常に使いやすく、また、ディフェクトマネジメント機能にも対応しています。その結果、WriteCD-RW!がディスク上で「不良」セクタと判断したセクタに書き込みを試みた際、「不良」セクタ上には書き込まず、自動的に予備セクタ上に書き込みを行います。

WriteCD-RW!をご使用いただくことで、CD-RWディスクを信頼性の高いWindows用外部記憶領域として500MBまでの記録可能な、大容量フロッピーディスクのように取り扱うことができます。また、WriteCD-RW!はMicrosoft Windows Explorer™を使用して、ファイルをCD-RWディスクアイコン上へドラッグ・アンド・ドロップすることができるため、フロッピーディスクやMO等のリムーバブルメディアと同様の機能を使用することができます。

WriteCD-RW!で作成されたドラッグ・アンド・ドロップファイルシステムは、Mt. Rainier CD-MRWドライブ用Optical Storage Technology Association (OSTA) UDF 1.02規格、従来のドライブおよびMt. Rainier 1.1仕様用UDF1.5規格に準拠しています。WriteCD-RW!でUDFにフォーマットされたディスクは、Windows Millennium、Windows 2000およびWindows XP UDFリーダーとの読み込み互換性があります。

本マニュアルで使用されている記載規則

本マニュアルで使用されているいくつかの記載規則は以下の通りです。

- ・ プログラム名は常にWriteCD-RW!として表示されます。
- ・ **ボールド（太字）**の用語は実際にメニューコマンドまたはダイアログボックス内で使用されていることを示しています。
- ・ 本マニュアルの他のセクション、または他のドキュメントを示している場合は、*斜体*として表示されます。
- ・ 「ディスク」、「ボリューム」、「メディア」は、相互に置き換えられて使用され、ドライブ内に使用されているデータストレージの方法を記述する際に使われます。
- ・ 下記の記アイコンは、インストールまたは操作に関する重要事項、および見落としはならない情報について説明しています。



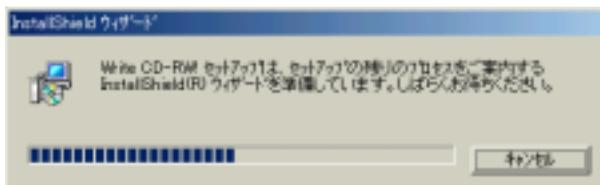
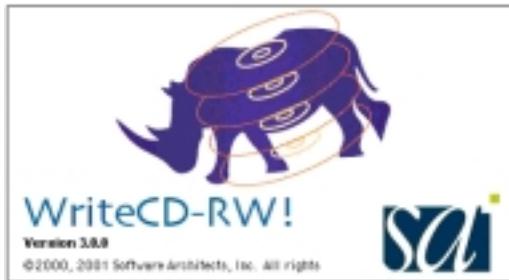
動作環境

WriteCD-RW! を起動させるには、以下のシステム構成が必要です。

- ・ 32MB 以上の RAM をもつ Pentium を搭載し、Windows 98/98 SE/Me が動作するコンピュータ、64MB 以上の RAM をもつ Pentium 150 を搭載し WindowsNT4.0(SP 4 またはそれ以降) /2000 が動作するコンピュータ
- ・ 従来または Mt. Rainier 規格に準拠した CD-RW ドライブ

インストール

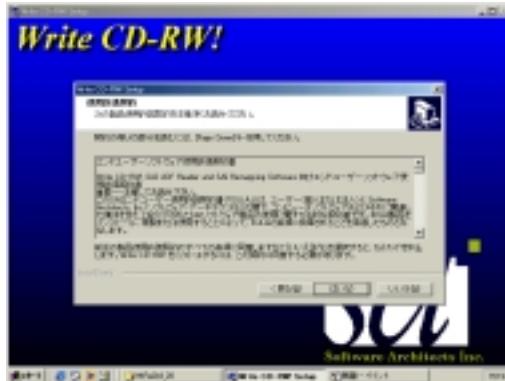
WriteCD-RW!をインストールするには、WriteCD-RW!CD-ROMを適切なドライブに挿入し、SETUP.を起動してください。InstallShieldウィザードWriteCD-RW!ロゴおよびプログレスバーが表示されます。



プログレスバーが終了すると、以下の画面が表示されます。



次へをクリックすると使用許諾契約書が画面に表示されます。



ソフトウェア使用許諾契約書および保証の棄権条項を注意してお読みになり、WriteCD-RW!のインストールを続けるか決定してください。WriteCD-RW!使用許諾契約書の条項に同意しない場合は、**いいえ**をクリックし、製品をパッケージに戻し、お買い求めになった販売店にて払い戻しを受けてください。

使用許諾契約書の条項に同意し、インストールを続ける場合は、**はい**をクリックしてください。「インストール先の選択」画面が表示されます。リスト上のデフォルトフォルダにWriteCD-RW!をインストールできますし、別の場所を選択することも可能です。



デフォルト以外のフォルダを選択した場合、「プログラムフォルダの選択」画面が次に表示されます。



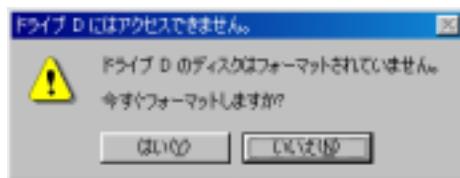
フォルダを選択し、次へをクリックしてください。WriteCD-RW! プログラムがインストールされます。次にプログレスバーを含むセットアップ画面が表示されます。インストール完了後に、「InstallShield ウィザードの完了」画面が表示されます。



コンピュータを再起動し、WriteCD-RW! を使用可能な状態にしてください。今すぐコンピュータを再起動するかあとで再起動するかを選択することができます。

WriteCD-RW! の使用方法

WriteCD-RW! プログラムでフォーマットする CD-RW ドライブが「マイコンピュータ」内のドライプリストに表示されます。WriteCD-RW! をインストールし、再起動させた後、ドライブに新しいブランクの CD-RW ディスクを挿入します。ブランクディスクであることを知らせるダイアログボックスが表示されます。

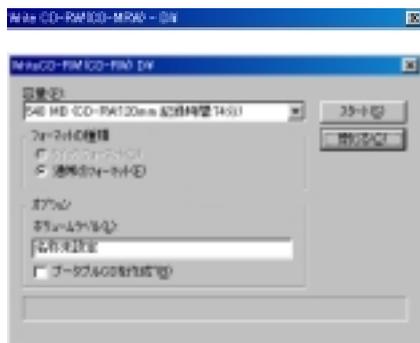


次の操作に進むには、**はい**をクリックしてください。



記：ディスクを使用するにはディスクを WriteCD-RW! でフォーマットする必要があります。**いいえ**を選択した場合、次の操作に進むことはできません。

フォーマットダイアログボックスが次のように表示されます。Mt . Rainier 規格 CD-RW ドライブの場合、CD-MRW 用ダイアログボックスが、従来の CD-RW ドライブの場合、CD-RW 用ダイアログボックスのいずれかが表示されます。



「フォーマットの種類」から**通常**のフォーマットオプションを選択してください。新しい CD-RW ディスクの場合、このオプションだけがアクティブな選択となります。(既にフォーマットされたディスクを使用する場合、**クイック**フォーマットを選択することもできます。)

ディスクのフォーマットの種類を選択した後、ダイアログボックス内の「オプション」部分で、ディスクにタイトルをつけることができます。タイトル名として、英語の場合、11文字まで、日本語の場合（ダブルバイトのため）では、5文字まで使用可能です。

DOSでコンピュータをブートするために使うブータブルCDを作成したい場合は、**ブータブルCDを作成**をチェックしてください。

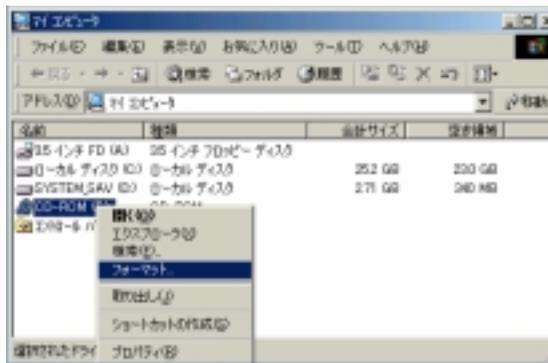
フォーマットウィンドウの右上にある**スタート**をクリックしてください。スタートをクリックすることによってCD-RWディスクを初期化し、フォーマットのプロセスを始めます。



記：上記にあげる方法で新しいCD-RWディスクをフォーマット後、再びそのCD-RWディスクをフォーマットしようとした場合、アクティブな「フォーマットの種類」が**通常のフォーマット**から**クイックフォーマット**に変更されます。これは、UDFディレクトリがすでにディスク上に適用されているからです。

Mt. Rainier規格CD-RWドライブを使用している場合、フォーマット後、1分以内にディスクを使用できます。（ディアイシングのセクションを参照。）従来のドライブの場合、フォーマットが完了するまでディスクを使用することはできません。（画面上にある「マイ コンピュータ」内のエクスプローラを使用し）CD-RWディスク上にファイルをコピーする、またはドラッグ・アンド・ドロップすることによってCD-RWに書き込みをすることができます。500MBまで記録可能なハードドライブのようにCD-RWディスクに読み込み、書き込みができます。

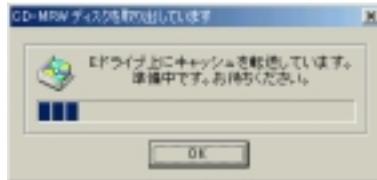
すでにフォーマットされているディスクを使用したい場合、WriteCD-RW!をインストール後、システムを再起動するとドライブ名が「マイ コンピュータ」のドライブリストに表示されます。下記に示す例のように右クリックしメニューを表示してください。



本メニューから**フォーマット**を選択すると前述のフォーマットダイアログボックスが表示されます。ディスクはすでにフォーマットされていますので**クイックフォーマット**をフォーマットの種類として選択してください。

ディスクの「ディアイシング」(フォーマット)

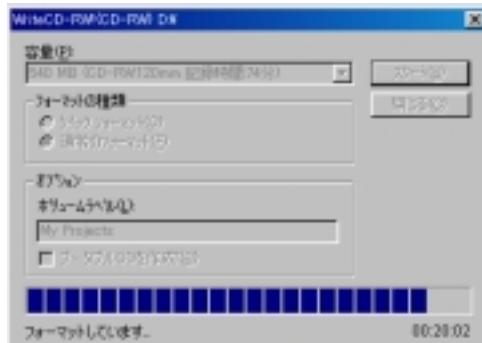
Mt. Rainier 規格 CD-MRW ドライブで前述した方法でディスクをフォーマットした場合、ディスク上のすべてのセクタの準備が進行中であっても1分以内にディスクを使用することができます。これを「ディアイシング」プロセスと呼びます。「ディアイシング」プロセスが完了する前にディスクを取り出した場合、トラックの準備がまだ完了していないことを伝える画面が表示されます。部分的に「ディアイシング」が行われたディスクを再び使用した場合は、Mt. Rainier ドライブが必要に応じて自動的にディアイシングプロセスを開始します。



記：一部にだけディアイシングされたディスクを見るとディアイシングの「前」と「後」における物理的な違いがわかるはずですが。



記：従来のCD-RWドライブの場合、フォーマットが完全に終了するまでディスクを使用することはできません。フォーマットの進行具合と経過した時間を示す、スクロールするプログレスバーが次のように画面に表示されます。フォーマットには最低でも20分必要です。



トラブルシューティング

WriteCD-RW!は、UDFでフォーマットされたメディア上に外部記憶領域を提供するようデザインされたプログラムです。他のソフトウェアプログラムと同様、本プログラム使用中に何らかの疑問点をお持ちになるかもしれません。問題が生じた場合は、まず、FAQと問題例とその解決法に例示されている問題と解決法をご参照ください。

本製品についてのその他の質問に関しては、技術サポートにご連絡ください。

FAQ

Q： UDFとはどういう意味ですか？

A： UDFとは「Universal Disk Format」の略で、確実にデバイスとの統括的な互換性を実現する、ディスク用標準データフォーマットです。UDFは、OSTA(Optical Storage Technology Association)により開発され、国際的に承認された規格となっています。

Q： ボリュームとは何ですか？

A： ボリュームとはディスク上に配置されているディレクトリやファイルの論理的な構造を示します。ディスクには1つ、またはそれ以上のボリュームが含まれます。「ボリューム」、「ディスク」、「メディア」は相互に置き換えられて使われます。

Q： UDF ボリュームのどのバージョンがWriteCD-RW!で使用できるのですか？

A： Mt. RainierCD仕様では、UDFバージョン1.02を使用する必要があります。WriteCD-RW!フォーマッタは、この制限を満たすためにUDF1.02でディスクを初期化します。従来のドライブでは、WriteCD-RW!フォーマッタは、UDF 1.5でディスクを初期化します。UDFファイルシステムエンジンが、UDFバージョン1.0から2.01でフォーマットされたディスクに読み込み、書き込みを可能とします。

Q： UDF以外にどんなフォーマットがありますか？

A： 一般的なフォーマットとして、FAT16、FAT32 (Windows で使われている16 bit もしくは、32 bit のFile Allocation Table)、NTFS (Windows NT File Systemの略)、HFS、HFS+ (Macintosh で使われているHierarchical File System)、CDFS (ISO 9660の別称、CD-ROM ディスクで使われているファイルフォーマット)、および様々なUNIXファイルシステムがあげられます。

Q：「通常のフォーマット」と「クイックフォーマット」は何が違うのでしょうか？

A：「クイックフォーマット」は、ディスク上にある既存のデータを無視し、ディスクに新しい論理UDFファイルシステムディレクトリを書き込むためすばやくフォーマットを行いますが、データは消去されアクセスできません。「通常のフォーマット」は、既存のデータを文字通り消去し、新しく物理的および論理的にUDFファイルシステムディレクトリをディスクに書き込むことを意味します。

Q：Mt. Rainier ではUDF 以外のファイルシステムを使用できないのですか？

A：使用できません。Mt. Rainier では、UDF ファイルシステムのみでフォーマット可能です。

Q：従来のCD-RW ドライブを使用し、Mt. Rainier でフォーマットされたディスクを読み込むことはできますか？

A：できません。従来のドライブ(Mt. Rainier 機能を持たない従来のCD-ROM、CD-R およびCD-RW)を使用し、Mt. Rainier でフォーマットされたディスクを読み込み可能なソフトウェア・ユーティリティをソフトウェア・アーキテクツ社から入手できます。

問題例とその解決法

Q： ディスクを挿入しても、マウントしない、またはダイアログボックスが表示されない。

A1： 不適切なケーブルまたはターミネータの接続

ケーブルとターミネータの接続が適切であるかにより、ハードウェアのパフォーマンスは左右されます。ねじれたり、不適切に配線されたケーブルは、間違ったターミネーションと同様に問題の原因となります。また、コンピュータを起動する前に、各ドライブの電源がオンになっていることを確認してください。

A2： ATAPI のマスタおよびスレーブの障害

ATAPI ケーブルに複数のドライブが接続されている場合、複数のマスタとスレーブがないことを確認してください。

A3： デバイスがサポートされていない。

お使いのデバイスがWriteCD-RW!によってサポートされているか確認してください。株式会社アクト・ツー社ウェブサイト (<http://www.act2.co.jp/>) にてサポートされているデバイスを確認していただくことができます。

A 4 : ディスクの速さがドライブに対し適切でない。

ご使用のディスクがドライブの速さと同じかご確認ください。例えば、4倍速で書き込むCD-RWのドライブには4倍速用のディスクのみをお使いください。

Q : WriteCD-RW! でCD-R ディスクが使用できない。

A : 現バージョンのWriteCD-RW!は、CD-RWメディアのみに書き込みができます。WriteCD-RW!プログラムで使用するディスクは、CD-RW用ディスクである必要があります。

Q : ディスク名を「numbersevendisc」としましたが、このディスク名で表示されません。なぜですか？

A : ディスク名が11文字を超えているからです。11文字以上のディスク名をつけた場合、ディスク名は自動的にWriteCD-RW!プログラムによって省略されます。

ユーザー登録

WriteCD-RW!についてのサポートを受けるには、正規ユーザーとして登録が必要です。大変お手数ですが、ソフトウェア・アーキテツ社、株式会社アクト・ツー、両社において製品の登録を行ってください。

アクト・ツー社にて登録していただくと日本国内での技術サポートおよびアップグレードサービスを受けていただくことができます。同梱の登録用のハガキに必要事項を記入後、アクト・ツー社宛てまで郵送してください。

また、アクト・ツー Web サイトにてオンラインユーザー登録を行うことも可能です。

技術サポート

株式会社アクト・ツー

サポートセンター

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-1-14 鈴木ビル3F

オンラインユーザー登録: <http://www.act2.co.jp/userdata/>

メールサポート: <http://www.act2.co.jp/support>

Webサイト: <http://www.act2.co.jp/>

電話: (03) 3328-8431

FAX: (03) 3328-8454

ソフトウェア・アーキテツ社に登録していただくとアップグレードの特別サービスやソフトウェア・アーキテツ社の他製品へのご案内などを受けることができます。下記のいずれかの方法にて製品の登録を行ってください。

- 1) REGISTER.HTM ドキュメントによるオンライン登録
- 2) お名前、貴社名、ご住所、電話番号、ファックス番号、E-メールアドレス、製品名、製品のシリアル番号、ご購入日をE-メールする。
- 3) 登録フォームに必要事項を記入後、郵送する。
- 4) 登録フォームに必要事項を記入後、ファックスする。

Software Architects, Inc(ソフトウェア・アーキテツ社)

住所: 19102 North Creek Parkway, Suite 101, Bothell, WA 98011, USA

Email: sales@softarch.com

ウェブサイト: <http://www.softarch.com>

電話: +1 (425) 487-0122

FAX: +1 (425) 487-0467

よろしく願い致します。

用語解説

CDFS - コンパクト・ディスク・ファイルシステム (CD-ROM ディスクで使用されているファイルフォーマット、ISO 9660 の別称)

CD-ROM - 「Compact Disk Read Only Memory」の略。コンパクトディスク読み出し専用メモリ。

CD-RW - 「Compact Disk Rewritable」の略。繰り返し書き換え可能なコンパクトディスク。

ディスク - 磁化された小さな点としてデータを記録することができる平らな円弧の磁性体。「ボリューム」と「メディア」の項もご参照ください。

DVD - 「Digital Versatile Disk」の略。次世代デジタル・ディスクの統一規格の略称。

DVD-ROM - 「Digital Versatile Disk Read-Only Memory」の略。DVD を CD-ROM のように読み込み専用の記憶装置 (ROM) として利用するもの。

FAT16 - 「16 bit File Allocation Table」の略。様々な Windows オペレーティングシステムで使用されているファイルフォーマット。

FAT32 - 「32 bit File Allocation Table」の略。様々な Windows オペレーティングシステムで使用されているファイルフォーマット。

ISO 9660 - CD-ROM ディスクで使用されているファイルフォーマット用国際標準化番号。

ログファイル - プログラムによって作成されたエラーやそのエラーに対するコメントのリスト。

メディア - ディレクトリやファイルの論理的な構造にデータを保存する物理的な物体。「ボリューム」および「ディスク」の項もご参照ください。

Mt. Rainier 規格ディスクドライブ - 従来の CD-RW ドライブとは異なり Mt. Rainier 規格の CD-RW ドライブは、信頼性が高く、バックグラウンド処理にてフォーマットを行うため使いやすい設計となっています。

NTFS - 「Windows NT File System」の略。

OSTA - 「Optical Storage Technology Association」の略で、UDF デバイスに関する規格やライセンスを管理している業界団体。

スペースビットマップ - ディスク上の使用領域と空き領域に関する情報を保存している UDF ディスク上のリスト。

UDF - 「Universal Disk Format」の略。異なるオペレーティングシステム間でデバイスとの互換性を保証する DVD および他のメディア用標準データフォーマット。UDF フォーマットは、Optical Storage Technology Association (OSTA の項を参照) によって開発された国際的に承認された規格に基づいています。

UNIX - 多くのハードウェアプラットフォームで利用できる広く移植されているオペレーティングシステム。

ボリューム - ディスクにレイアウトされたファイルやディレクトリの論理的構造。ディスクは1つまたは複数のボリュームを含むことができます。「ディスク」および「メディア」の項もご参照ください。

Windows NT - 複数のユーザーに接続され、サーバーにインストールされた Microsoft のオペレーティングシステム。

Software Architects, Inc. 技術サポート:

株式会社アクト・ツー

サポートセンター

電話: (03) 3328-8431

Fax: (03) 3328-8454

メールサポート: <http://www.act2.co.jp/support>

Webサイト: <http://www.act2.co.jp/>

住所: 〒168-0063 東京都杉並区和泉1-1-14 鈴木ビル3F